

2022 年 2 月 10 日

2021 年度

「第 23 回 西日本国際財団アジア貢献賞」・「第 17 回 西日本国際財団アジア未来大賞」 受賞者決定および授賞式開催のお知らせ

公益財団法人 西日本国際財団（理事長 久保田 勇夫）は、アジアとの国際交流に貢献している九州・沖縄・山口地域の団体・個人等を表彰しています。

このたび、標記各賞について下記のとおり受賞者が決定しましたので、お知らせします。受賞者には、賞状と副賞を贈呈します。

なお、各賞の授賞式を 2022 年 3 月 9 日（水）に開催しますので、併せてお知らせします。

記

1. 受賞者

（1）「第 23 回 西日本国際財団 アジア貢献賞」

受賞者	活動地域	分野	活動内容
特定非営利活動法人 NPO 慧燈 (理事長 弓 正純)	タイ 佐賀県 (三養基郡)	教育支援・ 国際交流	タイにおける第二次世界大戦時の日本兵看護や戦後の遺骨収集協力の御礼として、1995 年から現地の中学・高校生に奨学金を支給し、その後、日本で「里親※」を募集する制度をスタートさせ、これまでに、延べ約 7,000 人以上を支援している。
竹井 清 (柳川国際青少年ロッジ 代表・サンブリッジ 国際交流協会理事長)	アジア 福岡県 (柳川市)	国際交流	日本人の国際交渉力を身に付けるため、1977 年、地元柳川市にロッジを建設し、20 年以上に亘って、89 か国、延べ 1 万人以上の外国人留学生を無償で宿泊させ、個人による国際交流活動を実践した。2000 年頃からは、小学生のホームステイを軸とした日韓交流活動にも注力している。
NPO 法人トゥマンハティ ふくおか (代表理事 弥栄 睦子)	インドネシア 福岡県 (福岡市)	教育支援・ 多文化共生	インドネシアの貧しい子供たちの教育を支援するため、2002 年に同国留学生協会福岡支部と日本人有志でチャリティイベントを開催し、今では、教育支援のほか、震災等の支援やインドネシアの多様な文化の紹介等、さまざまな活動を展開している。

※里親とは、通常の親権を有せずに児童を養育する者のこと

（2）「第 17 回 西日本国際財団 アジア未来大賞」

受賞団体	活動地域	活動内容
【共同受賞】 飯塚市立庄内中学校 (校長 深見 秀人) 飯塚市立二瀬中学校 (校長 松田 雄三)	アジア各国・ 中東・アフリカ 福岡県 (飯塚市)	両校は 2000 年代に荒れた学校内の環境を立て直すための取組みの一環として「国際教育」を導入した。海外とのさまざまな交流活動を行いながら、生徒たちにグローバルな視野を持たせるためのキャリア教育を、学校長を始めとする教職員たちが持続的に実践している。
フレンズ国際 ワークキャンプ九州 (FIWC 九州) (委員長 久保山 亜美)	フィリピン・ 中国・ネパール・ インドネシア等 福岡県 (福岡市)	2004 年、福岡の大学生たちが学生のみで横断的に組織を結成し活動を開始した。差別や貧困といった困難が生じている地域などを活動対象地域に選定し、現地の事前訪問により、支援内容を決定した上で、夏期休暇期間に現地の人々と寝食を共にしながら労働奉仕活動を実施している。

2. 授賞式 開催概要

「アジア貢献賞・アジア未来大賞授賞式」を以下のとおり開催します。

なお、今年度の授賞式は、新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、出席者を受賞者および関係者等に限定し、規模を縮小して開催します。

日 時	2022 年 3 月 9 日（水）16：00～17：00（受付開始 15：30）
会 場	ホテル日航福岡 3 階「都久志の間」（福岡市博多区博多駅前 2-18-25）
主 催	公益財団法人 西日本国際財団

以 上

本件に関するお問い合わせ先 公益財団法人 西日本国際財団 事務局 しんや 新屋・ せいけ 清家 TEL 092-476-2154
--